

設置の仕方

①ウォーターサーバー、②ボトルホルダー、③ボトルは個別に配送されます。①②③がすべて揃ってから設置をしてください。
必ず冷温水口から適水確認後、電源プラグをコンセントに入れて下さい。

1 段ボールからボトルを取り出します。



2 ボトルキャップの密閉シールをはがします。



3 ボトルの底部の取っ手で持ち上げます。



4 机など平らな所でボトルホルダーの開口部にはまるよう、垂直にセットします。

ボトルホルダー開口部



5 ボトルホルダーの持ち手を持って、ホルダーごとボトル差込口に合せて垂直にセットします。
(その際、ボトルホルダーのシールが正面に)



6 本来なら水の重みで差込棒にきっちり刺さるのですが、うまく刺さらない場合は横からブルー色のボトルキャップが見えなくなるまで、上から押し込みます。



セット後は必ず上から押し込んで下さい。

7 上蓋をし、ボトルから本体のタンクに給水される音を確認します。



8 冷温水が注水口から出ることを確認してください。温水は空気抜きのため水がでるまで多少時間がかかります。(約1分)
(初回のみ各コップ2杯程度捨ててください)



9 給水されたことを確認後、電源プラグをコンセントに差し込みます。
(床置タイプのみ冷水ランプが緑色に点灯します)



10 背面の温水スイッチを入(ON)にします。
(床置タイプのみ温水ランプが赤色に点灯します)



11 約40分後には、冷水、温水とも使用できます。



5~8°C(冷水) 80~90°C(温水)

2回目からはボトル交換だけでOKです。

設置の仕方①~⑦の繰り返し

正しい使い方

冷水・温水を出すとき

温水は、最初に上部にある赤いボタンを押しながら下のレバーを押すと温水が注水されます。冷水は、レバーを押すだけで注水されます。

(レバーが戻るときの反動でコップが割れる恐れがあります)

熱湯に注意



安全装置

温水レバーを押すだけでは、注水されません。温水レバーを押さえ、その上のボタンを同時に押すことで注水されます。



水受け皿

写真(下)のように容器の手前の穴に親指を差し込み手前に引くと簡単に取り外すことができます。

(中性洗剤で洗浄し、よくすすいでください)



ボトル交換の目安と注意点

- 空になったボトルは、ボトルホルダーに入れたままウォーターサーバーから引き抜いてください。絶対にボトルのみを抜かないでください。水漏れの原因になります。
- 交換時には電源と温水スイッチは切らないでください。
- ボトルホルダー内の水が残っていても、お湯が出なくなったときは水の交換の目安です。この時冷温水タンク内にはそれぞれ約1.5ℓほど残水しております。初回はボトルの実際の減りが早いと思われませんが、実際の使用量は約9ℓです。冷水はそのままでもご利用いただけますが、温水は次のボトルを差さないと出ない仕組みになっておりますのでご注意ください。2回目以降は初回のような減り方はしませんのでご安心ください。



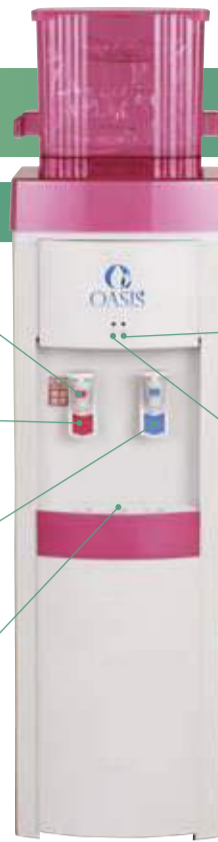
内部図面

ウォーターサーバーの名称と働き

卓上タイプ(S)



床置タイプ(L)



安全装置

温水は赤いボタンを押し込みながら、レバーを同時に押し込まないと注水されません。

温水レバー

温水用レバーと赤いボタンを同時に押すとお湯が出てきます。

冷水レバー

冷水用レバーを押すと冷水が出てきます。

水受け皿

冷水とお湯を受ける容器を置くスペース、取り外しができます。

排水キャップ

底面にキャップがあります。

冷水ランプ

電源プラグをコンセントに差し込むと緑色に点灯します。

温水ランプ

電源プラグをコンセントに差し込み、温水スイッチを入(OFF)にすると赤色に点灯します。

※製品改良のため、予告無く仕様・外観を変更する場合があります。

背面



温水スイッチ (ON/OFF)

電源プラグをコンセントに差し込んだ後、スイッチを入(OFF)にします。(温水タンクの水は約40分後、87℃前後のお湯になります)

(ON)は、入り
(OFF)は、切りの意味です。



電源プラグ

電源プラグをコンセントに差し込むと同時に冷却機能が作動します。(冷却タンクの水は約40分後、6℃前後になります)

※電源プラグは、給水後に差し込みます。(初回のみ)

ヒューズ

過電流などからウォーターサーバーを守ります。

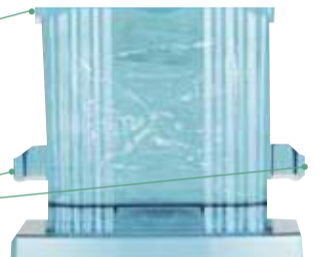
排水キャップ

ボトルホルダー

上蓋

ボトルの出し入れのとき以外は、蓋をしておきます。

持ち手



ボトル

密閉シール

ボトルホルダーにセットするとき、必ずシールをはがします。

ボトルキャップ



アース取付位置 アース線
(接続用ネジ付き)

アース線

ドライバーでネジを緩めて、アースを取り付けて下さい。

★アースは、コンセントのアース端子部分に確実に接続してください。またご使用中の電化製品のアースと一緒に共有接続頂いても大丈夫です。ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線とは共有接続しないでください。

設置前の確認をしましょう!



内側のネジを左回しにして外してください

1 まず最初に、ウォーターサーバーの背面部分にあります小窓パネルをつないでいるネジがありますのでご確認ください。確認できましたら、プラスドライバーでネジを左回しにして外してください。小窓パネルを戻す時は、きっちりお締めください。



給水ホース 給水タンク (冷水タンク)

2 次に小窓パネルをゆっくりと下に押し下げて外してください。無理に引張ったりしますと破損の恐れがありますのでやめてください。給水ホースがあることを確認してください。しっかりと給水口と給水タンク(冷水タンク)とが繋がっているか確認してください。給水ホースがねじれていたり折れ曲がっていないか確認し、調整してください。また、給水タンク(冷水タンク)の蓋がきっちりとはまっているか、ホースの留め金具がしっかりついているかも同時に確認し、調整してください。

ウォーターサーバーの運送途中で、ネジの緩みやホースが外れたりする場合があります。その場合、設置時に水が漏れたり、異音が出たり、漏電・故障等の原因となりますので必ずご確認ください。



排水口キャップ

3 ウォーターサーバー(床置タイプ)背面部分のコンデンサー(網部分)から、温水タンクの排水口が出ていますので、そのキャップがしっかり締まっているかを確認してください。(卓上タイプは底面にあります)この排水口は基本的に長期間のご利用停止や引越しなどの移動をする場合に、いったん排水するためのキャップですのできっちり締めておいてください。緩んでますと水漏れの原因となります。

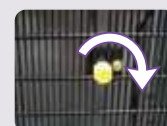


写真:床置タイプ
時計回りに回しますと締まります。
※卓上タイプは底面にあります。

※写真では、ホースの留め金具が取り付けられておりますが、ホース改良により現在は仕様が異なり、留め金具が付いておりませんので、一部写真と異なります事を御了承下さい。